

阿蘇くじゅう国立公園 阿蘇地域における 草原保全の取り組み

阿蘇の草原景観

二次的自然環境の保全対策



～草千里の風景～

～草原で見られる動植物～

			
ハナノシノブ	ヒゴタイ	ツクシマツモト	オオルリシジミ

阿蘇の草原は阿蘇くじゅう国立公園の代表的景観

- 阿蘇地域は、東西16km、南北23km、周囲128km及び外輪山と中央火口丘を含み、その北東部に広がる九重山群に連なる地域あわせ、特色ある広大な火山地形と草原から形成されている。(国立公園指定書)
- 阿蘇くじゅう国立公園は、世界一のカルデラ地形という地形が雄大な草地という衣をまとって成り立っている。
(第126回国会衆議院農林水産委員会環境省答弁)

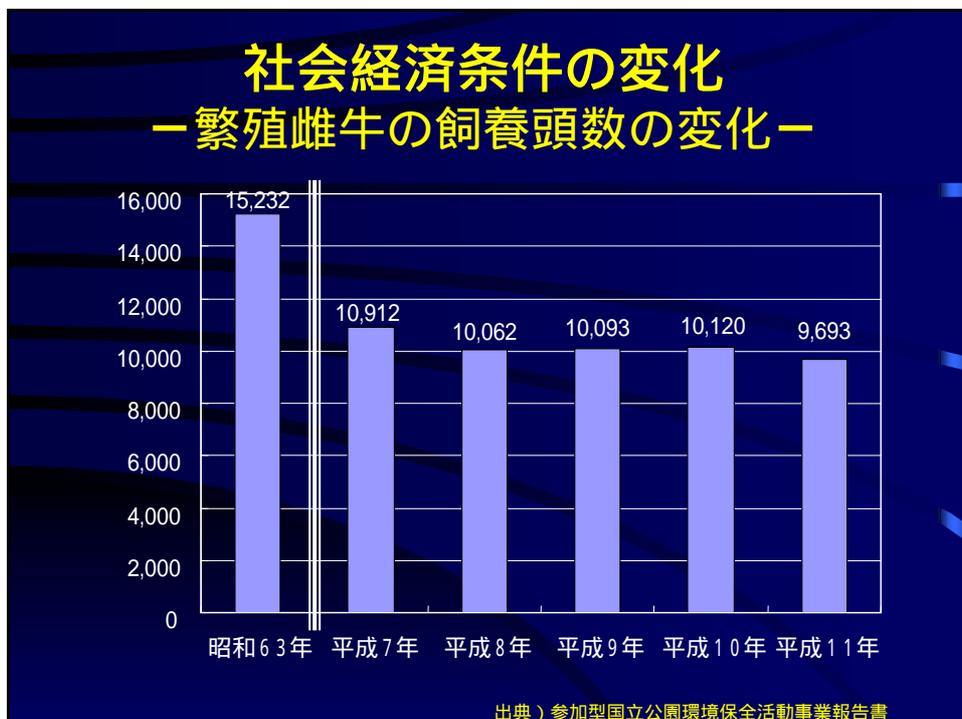
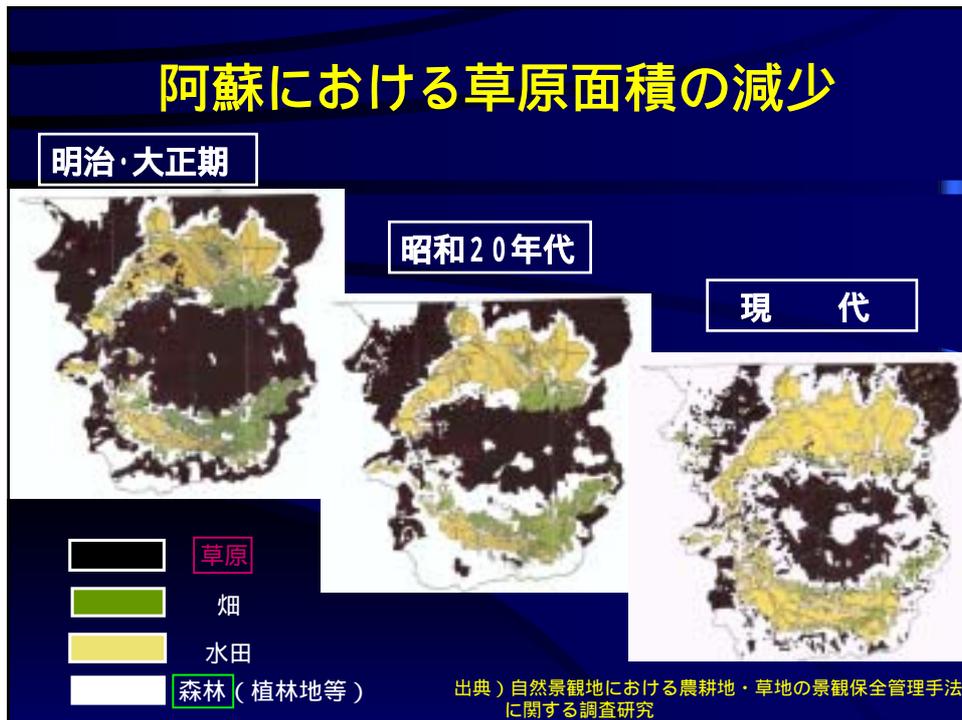
観光資源としての草原 - 観光客アンケート結果 -

阿蘇でいいと感じた風景

n = 2288 (%)



出典) 平成13年度国立公園内草原景観維持モデル事業報告書



草原維持に必要な管理作業



～野焼き～

～輪地切り～

野焼きのための防火帯づくり

阿蘇における草原保全の取り組み

平成8年～10年

参加型国立公園環境保全活動推進事業

- ・ 草原懇話会の開催などによる草原保全に関する機運の盛り上げ

草原シンポジウム、野焼きボランティア、草原募金等草原保全の動きが活発化



阿蘇における草原保全の取り組み

平成12年～13年

草原景観維持モデル事業

- ・ 保全すべき草原の抽出（主に景観面から）
- ・ 防火帯づくり（輪地切り）省力化技術の検討
家畜を用いた防火帯づくり（モーモー輪地）実用化



阿蘇における草原保全の取り組み

平成13年～14年

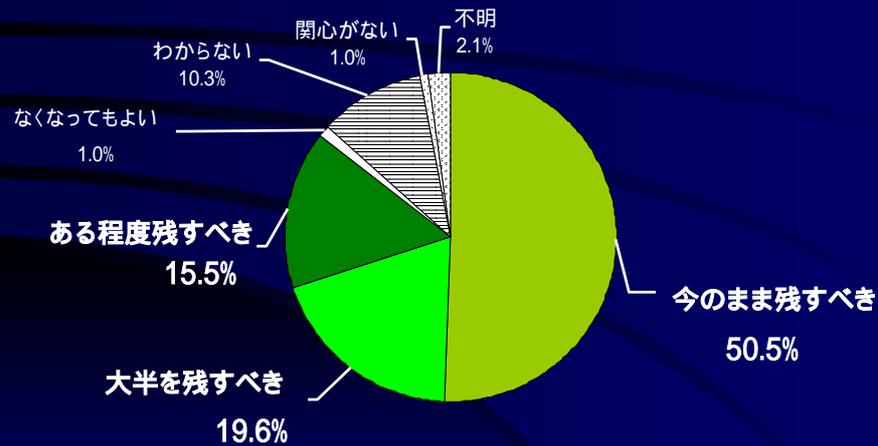
グリーンワーカー事業

(国立公園等民間活用特定自然環境保全活動事業)

- ・ モーモー輪地普及業務
- ・ 点在樹林地除去業務



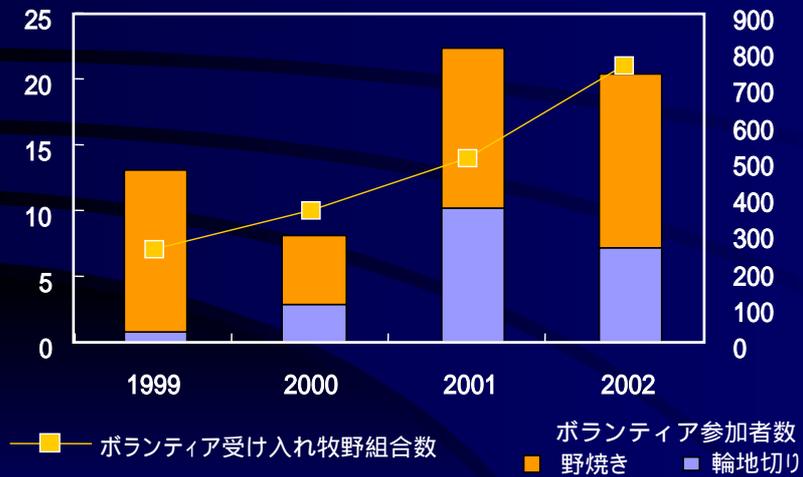
地元牧野組合の意識 - 1 草原の将来の存続について



地元牧野組合の意識 - 2 草原を残すべき理由 (3項目以内選択)



牧野組合との連携の強化ー1 ボランティア受け入れ実績



牧野組合との連携の強化ー2 モーター輪地切りの導入実績 (グリーンワーカー事業)

- 13年度 5町村 6牧野 18.25 km
- 14年度 5町村 11牧野 33.5 km

全体で、6町村 13牧野 51.75 kmで導入
(阿蘇の輪地切り総延長640 km)

阿蘇グリーンストック財団の役割

阿蘇グリーンストック財団の主な活動

赤牛の産直等による農業・農村支援

ボランティアによる野焼き・輪地切り支援

グリーンツーリズムによる都市と農村の交流

広葉樹の森づくり

調査研究



財団法人阿蘇グリーンストックホームページより

阿蘇グリーンストック財団の役割

環境省との連携

地元牧野組合とのパイプ役

(シンポジウムの共催、グリーンワーカー事業の斡旋)

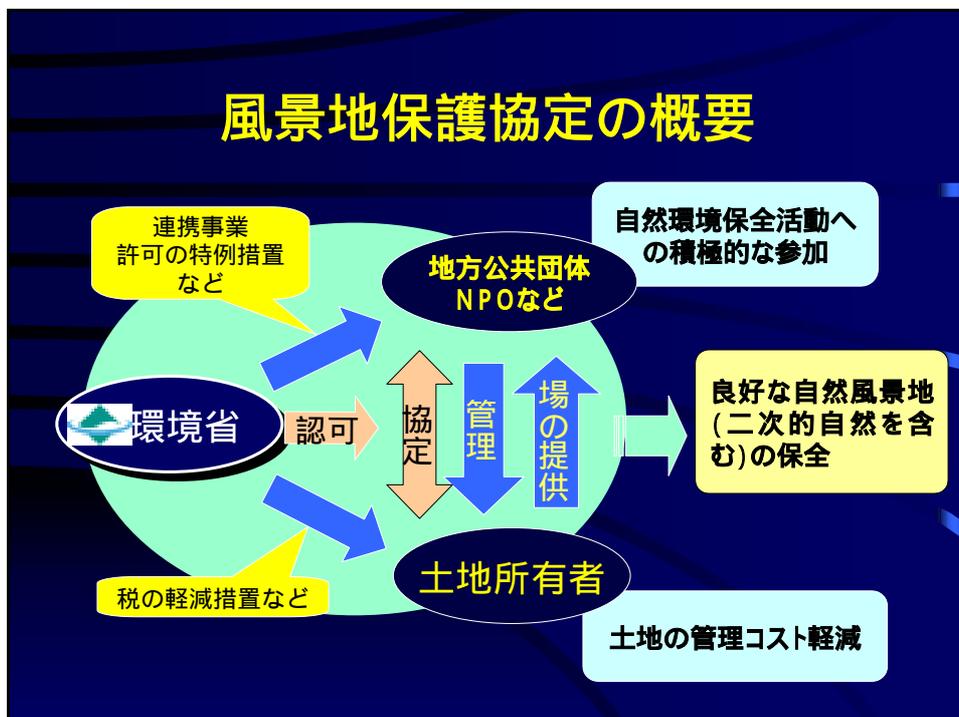
地元関係者とのネットワークを活かした調査研究の受託

野焼きボランティアなどの支援

今後の課題

- ・ 継続的な管理が可能な体制作り
風景地保護協定、公園管理団体への誘導
- ・ 多くの人が支える仕組み作り
産直や募金など支援体制の検討
観光客の草原に対する理解の向上
- ・ 生物多様性に配慮した保全
放牧、採草、野焼きの組み合わせ
モニタリング調査の実施

風景地保護協定の概要



公園管理団体

風景地保護協定制度との連携による効率化
 登山道や森林の荒廃等に対応したきめ細やかな管理の要求
 NGOなどの環境保全活動への気運の高まり

民間団体の積極的な参加による地域に密着した管理を推進

- 風景地保護協定に基づく環境保全、環境管理
- 登山道などの維持管理



草原の保全



登山道の維持補修

自然公園民間活動推進モデル事業費

- 風景地保護協定制度と公園管理団体制度の活用を促進するため、風景地保護協定の策定や公園管理事業をモデル事業として実施するとともに、本制度の内容やモデル事業例をハンドブックとしてとりまとめ、広く配布し、両制度の普及に努める。